棣棠の心

岸田國士

青空文庫

ファルギエール通りの貸本屋で、「マリイへの御告」を借りて来て、それをモンパルナスの墓地で読んだ——クロオデルを初めて知つたのはその時である。

ボオドレエルの死像の前に菫の花束などが置いてあつた。

なるほど、これは違つた世界だ——さう思つた。

やがて、喪服を着た若い女の、つゝましい瞬きに心を惹かれた。

——然し、その女は「天刑病者の接吻(くちづけ)を受けた女」に似てゐた。

アール・エ・アクシヨンのスチュヂオで、ララ夫人の「正午の分配」を聴いた。

それは一つの啓示であつた。

——そこに、劇詩人としての「非凡な息(スッフル)」を感じた。

俳優の「人間臭さ」は、しばしば、その扮する人物を「人間らしさ」から遠ける。

クロオデルの戯曲中に現れる人物は、極めて「人間臭からざる人間」である。

それが、最も「人間らしき人間」だと、どうして云へないだらう。

――その証拠に、彼等はわれわれの如く生きてゐる。
少くとも、その時から、わたくしの心に生きてゐる。

〔――Seigneur, que nous e'tions jeunes alors.....le monde n'e'tait pas assez grand pour nous――〕

彼は予言者であるよりも詩人だ。
――それでいゝではないか。

わたくしは嘗て「芝居を書くと云ふことのうちには、芝居を観る楽しみも大方含まれてゐる」と云つた。
クロオデルの戯曲を読んで、「クロオデルが観つゝある芝居」のユニックな魅力を感じないものがあらうか。

「我等の偉大なるクロオデル」とフランス人の或るものは云ふ。
「君等の偉大なるクロオデル」とわたくしは云ふことができる――お世辞でなく、皮肉でなく、まして見栄からでなく。

クロオデルが日本に来た。仏国大使として日本に来た。

――諸君、彼に先づ瞑想の時間を与へよう。

青空文庫情報

底本：「岸田國士全集19」岩波書店
　　1989（平成元）年12月8日発行
底本の親本：「言葉言葉言葉」改造社
　　1926（大正15）年6月20日発行
初出：「ゆかり」改造社
　　1924（大正13）年12月25日発行
入力：tatsuki
校正：Juki
2009年1月13日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

棣棠の心

岸田國士

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　https://aohelp.club/
BiliBili　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/